平成18年度	費用進行基準を採用した業務に係る分	226,350	○費用進行基準を採用した業務は、全ての業務である。 ○運営費交付金債務残高は、人件費使用見込額及び平成18年度に支払った平成22年度以降の長期前払費用等である。 ○運営費交付金債務残高の内訳 事業費　226,142　人件費　208　合計　226,350 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、中期計画終了年度をもって全額収益化することになる。
	計	226,350	
平成19年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	0	—（業務達成基準を採用した業務は無い）
	期間進行基準を採用した業務に係る分	0	—（期間進行基準を採用した業務は無い）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	3,291,505	○費用進行基準を採用した業務は、全ての業務である。 ○運営費交付金債務残高は、人件費使用見込額及び平成19年度に支払った平成22年度以降の長期前払費用等である。 ○運営費交付金債務残高の内訳 事業費　3,291,134　人件費　371　合計　3,291,505 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、中期計画終了年度をもって全額収益化することになる。
	計	3,291,505	
平成20年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	0	—（業務達成基準を採用した業務は無い）
	期間進行基準を採用した業務に係る分	0	—（期間進行基準を採用した業務は無い）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	862,667,032	○費用進行基準を採用した業務は、全ての業務である。 ○運営費交付金債務残高は、人件費使用見込額及び平成20年度に支払った平成22年度以降の長期前払費用等である。 ○運営費交付金債務残高の内訳 事業費　13,741,907　人件費　848,925,125　合計　862,667,032 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、中期計画終了年度をもって全額収益化することになる。
	計	862,667,032	
平成21年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	0	—（業務達成基準を採用した業務は無い）
	期間進行基準を採用した業務に係る分	0	—（期間進行基準を採用した業務は無い）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	2,427,098,269	○費用進行基準を採用した業務は、全ての業務である。 ○運営費交付金債務残高は、人件費使用見込額及び自然災害等に備えた予備費見込額、履行期限未到来の工事等の契約済繰越、平成21年度効率化計画の徹底に伴う経費節減効果等である。 ○運営費交付金債務残高の内訳 事業費　1,441,171,810　人件費　985,926,459　合計　2,427,098,269 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高ついては、中期計画終了年度をもって全額収益化することになる。
	計	2,427,098,269	